

千葉大学医学部附属病院で肝内胆管癌に対し 手術を受けられた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年9月10日

肝胆膵外科

肝胆膵外科では、「肝胆膵領域癌における Ly6D を介した腫瘍進展促進機序・抗癌剤耐性増強機序の解明および治療応用」に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2002年1月1日～2023年12月31日の間に当院で肝内胆管癌に対し
手術を受けられ方

1. 研究課題名

「肝胆膵領域癌における Ly6D を介した腫瘍進展促進機序・抗癌剤耐性増強機序の解明
および治療応用」

2. 研究期間

2024年承認日～2026年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

胆管癌は手術手技や抗癌剤が進歩した現在においても未だに予後不良といわれています。本研究では、他の悪性腫瘍で多く存在することで生命予後が悪いと言われているタンパク質のひとつである Ly6D (lymphocyte antigen 6 superfamily D) に注目し、肝内胆管癌におけるタンパク質 Ly6D のはたらきを明らかにすることで、タンパク質 Ly6D を標的とした肝内胆管癌の新しい治療につなげることを目標としています。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

2002年1月から2023年12月までの間において、手術時に採取された組織検体、診療録に記載されている性別、年齢、身長、体重、病歴、血液検査値、診断、当科で行った術前、術後の検査、治療の結果、手術の方法、合併症、手術検体、治療経過、予後について調べます。

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：肝胆膵外科 科長 大塚将之

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教室において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科

医師 大塚将之、久保木知、園田至人

043 (222) 7171 内線5286